

## 経済理論

---

経済理論部門は、近代経済学の学問体系の基礎となるミクロ経済理論とマクロ経済理論の 2 分野から主に構成されている。主要な学部講義科目は「ミクロ経済学 I・II」と「マクロ経済学 I・II」である。学部共通の入門および基礎科目である「経済学入門」、「基礎ミクロ経済学」、「基礎マクロ経済学」で講義される知識を前提とし、経済理論をさらに専門的に学ぶことを希望する学生を対象に開講される。「ミクロ経済学 I・II」の講義内容は、市場均衡の理論を基本としつつ、不確実性、ゲーム理論、マーケットデザインなど多岐にわたる。「マクロ経済学 I・II」では、ミクロ経済学理論に基礎付けられたマクロ経済理論について講義される。また、最近の経済理論の展開に沿ってさまざまなテーマを選択的に採り上げて講義する科目として「理論経済学」がある。

大学院講義科目としては、経済学研究科のコア科目として開講される「中級ミクロ経済学」、「上級ミクロ経済学」、「中級マクロ経済学」、「上級マクロ経済学」に加えて、経済学の分析によく用いられる数学を解説する「経済数学 I,II」や、一般均衡理論、成長論、不確実性、金融理論、意思決定理論、ゲーム理論、ポリティカルサイエンスなどの分野における最新の経済理論を講義する「上級理論経済学 I・II」、「数理経済学」、「上級政治経済学」などの科目がある。